

上下水道料金等の検証について

1 背景・経過

本市ではこれまで「おびひろ上下水道ビジョン(2020-2029)」に基づき上下水道事業の運営を行うとともに、健全かつ安定的な運営を持続するために「おびひろ上下水道事業経営改善プラン」を策定し取組みを進めてきました。

この間、給水人口は減少し続けているものの、使用水量は微減にとどまっており、一般会計からの繰出しを受けて実施した水道料金の基本料金免除の影響を除けば、上下水道ビジョンで計画していた上下水道料金収入を概ね確保しています。また、昨今、物価や人件費の上昇等により、各施設の維持管理費や施設整備費のコストが増加している状況にありますが、当年度純利益や累積資金残高も概ね計画値を確保しており、健全な運営を維持しています。

現行の上下水道料金は、帯広市公営企業経営審議会からの令和2年9月の答申を踏まえ、下水道使用料は据え置いたものの、令和3年1月検針分から水道料金を引き下げたところであり、上下水道料金の算定期間は令和7年度までとなっています。

また、近年は、全国各地で地震や豪雨等による上下水道施設の被災や管路の老朽化に起因する道路陥没といった事故が発生しており、これまで以上に災害対策や老朽化対策の加速化が求められております。

このため、今後の上下水道料金及び施設整備のあり方について、帯広市公営企業の設置等に関する条例第7条第2項の規定に基づき、帯広市公営企業経営審議会に諮問する予定です。

2 諮問の内容

(1) 今後の上下水道料金のあり方について

今後、人口減少に伴い水需要は一段と低下し、上下水道料金収入は減少していくものと見込まれていることから、長期的な収支見通しを踏まえ、健全で安定的な運営が持続できる上下水道料金のあり方について審議をお願いするものです。

(2) 今後の上下水道施設整備のあり方について

これまでも安全かつ強靱な上下水道を目指し、施設・管路の耐震化や下水道管渠の長寿命化などの取組みを進めてきましたが、今後の安全かつ強靱な上下水道施設の整備のあり方について審議をお願いするものです。

3 スケジュール

7月29日(火)	経営審議会に「上下水道料金等のあり方について」諮問・審議
8月上旬～9月上旬	経営審議会に3回程度審議
9月上旬	経営審議会からの答申書受理
10月以降	建設委員会に上下水道料金等検証結果を報告